

桑野塾

桑野塾

検索

<http://deracine.fool.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。
どなたでもご参加いただけます。
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

第42回

2017年
1月28日(土)
15:00 ~ 18:00

早稲田大学 早稲田キャンパス16号館 820号室

★ どなたでもご参加いただけます。会場に直接お越しください。

参加無料

☆ 終了後、近くの居酒屋で懇親会を開催します。(飲食費は別途)

※予約の都合上、懇親会参加をご希望の方はなるべく事前にご連絡いただくと助かります。

※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。



ふりかえって見たアストラハンの日々

報告者：柴田 明子



アストラハン・・・って、どこ？

ロシア語もできず、アストラハンという地名すら知らぬまま始まった2年間のロシア暮らし。大学予備学部でのスパルタ授業、日本語を学ぶ人たちとの出会い、スーパーのおばさんや大学寮のデジュールナヤとの交流など、一地方都市アストラハンでの生活やその時々喜怒哀楽、思ったことなどごく私的な体験談。

●柴田 明子(しばた あきこ) 元書籍編集者。三修社編集部などに勤務した後、日本語を教えることになった夫に同行し、2012年8月から2104年6月までアストラハンに滞在。

サーカスフォーラムに参加して

報告者：大島 幹雄

サーカス！ サーカス！ サーカス！

2014年に引き続き2016年もサンクトペテルブルグ市で開催された文化フォーラムの分科会「サーカスフォーラム」に招待され、11月30日から12月5日までサンクトペテルブルグに滞在しました。

サーカスフォーラムは「サーカス産業」と「ジャグリング」のふたつのセクションにわかれていましたが、私はジャグリングセクションのメンバーとして参加しました。

ここでの3日間の講演やワークショップについて報告します。

●大島 幹雄(おおしま みきお) サーカスプロデューサー。著書に『サーカスと革命』(水声社)、『明治のサーカス芸人はなぜロシアに消えたのか』(祥伝社)、『サーカス学誕生』(せりか書房)など。

